

事業報告

平成30年度・令和元年度研究会報告

法学研究所

憲法・行政法研究会

(第1回例会)

1、2019年2月8日(金) 17:30

1、図書館 L401演習室

1、テーマ及び報告者

行政計画の策定手続に関する検討

本学 助教 長谷川 福造

(第2回例会)

1、2019年2月12日(火) 16:20

1、2号館 253B講堂

1、テーマ及び報告者

犯罪被害者と刑事手続—日本国憲法及び英米法的見地からの一考察

九州国際大学法学部教授 吉村 真性

刑事法研究会

(第1回例会)

1、2019年1月26日(土) 16:30

1、10号館 1031講堂

1、テーマ及び報告者

<判例研究>最判平成30年3月19日刑集72巻1号1頁

「裁判員が参加する合議体で審理された事件について訴因変更を命じ又は積極的に促す義務がないとした事例」

弁護士 立石 有作

(第2回例会)

1、2019年4月27日(土) 16:30

1、本館 171講堂

1、テーマ及び報告者

科刑上一罪の一考察

本学大学院法学研究科博士後期課程 戸島 桃子

(第3回例会)

1、2019年6月27日(木) 16:30

1、本館 145講堂

1、テーマ及び報告者

性犯罪抑止のための新たな刑事政策的視点に基づく諸施策の提言

本学助教 西山 智之

(第4回例会)

1、2019年7月6日(土) 16:30

1、本館 171講堂

1、テーマ及び報告者

参考人の虚偽供述と証拠隠滅等罪の成否

本学大学院元教授 加藤 康栄

労働法研究会

(第1回例会)

1、2019年2月2日(土) 16:00

1、5号館2階 会議室

1、テーマ及び報告者

韓国労働法の変遷と韓国版働き方改革の行方

韓国外語大学校法科大学院教授 李 鋌

税法研究会

(第1回例会)

1、2019年4月20日(土) 15:00

1、2号館 221講堂

1、テーマ及び報告者

「財産権」と「納税の義務」

税理士 境 鎮治

1、2019年4月20日(土) 16:30

1、2号館 221講堂

1、テーマ及び報告者

「東日本大震災の復興補助金の課税問題」

立正大学法学部客員教授・税理士 浦野 広明

(第2回例会)

1、2019年7月20日(土) 15:00

1、2号館 221講堂

1、テーマ及び報告者

「所得税重加算税の取消審査請求—審査請求代理人の報告—」

税理士 福重 利夫

1、2019年7月20日(土) 16:30

1、2号館 221講堂

1、テーマ及び報告者

「近時、韓国における納税者権利保護の実態」

本学教授 阿部 徳幸

(第3回例会)

1、2019年9月21日(土) 15:00

1、10号館 1041講堂

1、テーマ及び報告者

「税理士法再検討—税理士法改正を見据えて—」

本学教授・税理士 阿部 徳幸

1、2019年9月21日(土) 16:30

1、10号館 1041講堂

1、テーマ及び報告者

「修正申告後の更正の請求」

立正大学法学部客員教授・税理士 浦野 広明

(第4回例会)

1、2019年10月19日(土) 15:00

1、2号館 221講堂

1、テーマ及び報告者

「日本財政の問題点」

静岡大学名誉教授 安藤 実

1、2019年10月19日(土) 16:30

1、2号館 221講堂

1、テーマ及び報告者

「法人住民税の課税標準額(法人税額)の算定に対する更正処分の一考察」

税理士・米国公認会計士 磯崎 剛

(第5回例会)

1、2019年11月23日(土) 15:00

1、10号館 1011講堂

1、テーマ及び報告者

「交際費判例の問題点と税法解釈」

本学教授 黒川 功

1、2019年11月23日(土) 16:30

1、10号館 1011講堂

1、テーマ及び報告者

「社会保障の財源は消費税以外にある」

税理士・不公平な税制をただす会研究事務局長 黒川 功

(第6回例会)

1、2019年12月21日(土) 15:00

1、2号館 251講堂

1、テーマ及び報告者

アメリカのシェアリングエコノミー課税論議 ～問われる「オンデマンド労働プラットフォーム」の所在

白鷗大学名誉教授 石村 耕治

政経研究所

政治研究会

(第1回例会)

1、2019年6月6日(木) 16:20

1、11号館 2階会議室

1、テーマ及び報告者

日本における政党助成制度の逆進性：政党交付金は新党の組織化を促進するのか

本学助教 浅井 直哉

経済研究会

(第1回例会)

1、2019年11月21日(木) 17:00

1、11号館 2階会議室

1、テーマ及び報告者

Determinants of Structural Adjustment and Employment Use in Japan : Firm Characteristics, Offshoring and Industrial Robotics

本学助教 羽田 翔

公共政策研究会

(第1回例会)

1、2019年1月10日(木) 16:20

1、本館 146講堂

1、テーマ及び報告者

「アイルランド共和国政府の広報機関に関する一考察」

本学准教授 岩井 義和

平成30年度学内学会・研究所合同研究会

1、日時 平成31年3月13日(水) 9:30開場 9:50開会

2、場所 法学部本館 第一会議室

ポスターセッション121講堂

司会・進行 南 健悟・石川 徳幸・加藤 暁子・齋藤 史範・佐藤 秀明

3、自由論題

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| ①都市レジーム研究とアメリカ地方自治 | 鈴木 隆志 |
| ②ワーク・ライフ・バランスと生活満足度
—関係財からのアプローチ— | 立福 家徳 |
| ③親権(ドイツの配慮権)と子どもの福祉 | 難波 岳穂 |
| ④番組編集準則に関する政府解釈の変遷 | 笹田 佳宏 |
| ⑤会社法における労働債権者の保護 | 南 健悟 |

4、在外研究報告

- | | |
|---------------------------|-------|
| ①政治学・政治哲学研究における「ケアの倫理」の意味 | 杉本 竜也 |
| ②2016年度ベルリン在学研究報告 | 松島 雪江 |

5、退任記念講演

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| ①産学連携の現在位置
—大学と企業との連携はどこまで進捗したのか— | 金澤 良弘 |
| ②ジャーナリズム・スタディーズのフィールド | 大井 眞二 |

6、ポスターセッション

- | | |
|---|-------|
| ①弁護士法の制定と弁護士試験について | 末澤 国彦 |
| ②ポピュリズム政治における選挙報道
—ジャーナリストの情報源と「一般の人々」— | 三谷 文栄 |
| ③現代英語の be to の本質的意味をめぐって
—時制構造の観点から— | 佐藤 健児 |
| ④20世紀前半の蘭領ジャワにおける邦字新聞に関する基礎的研究 | 石川 徳幸 |
| ⑤債権執行における債務者保護
—差押禁止債権の預金債権等への転化— | 吉田 純平 |
| ⑥北海道猿払川湿原中流部において採取された完新世河成堆積物中の植物珪酸体組成 | 田代 崇 |
| ⑦数学者・遠山啓における能力主義批判
—教科体系「水道方式」から教育評価論への推移— | 香川 七海 |

平成30年度・令和元年度定期無料法律相談会

平成30年度・令和元年度定期無料法律相談会は、千代田区及び校友弁護士の協力を得て開催された。概要は、下記のとおりである。定期無料法律相談会の趣旨である地域社会との交流を図り、学生たちの法学実践教育を行うという目的を達成することができた。

1、日 時

【平成30年度】

(第5回) 平成31年2月9日(土)

【令和元年度】

(第1回) 令和元年6月15日(土)

(第2回) 令和元年7月27日(土)

(第3回) 令和元年9月28日(土)

(第4回) 令和元年11月9日(土)

(第5回) 令和元年12月14日(土)

※いずれも時間は、午後1時～午後3時

2、場 所

法学部5号館

3、参加者(敬称略:50音順)

(専任教員)

清水 恵介・田中 夏樹・野中 貴弘・長谷川福造・藤村 和夫

(校友弁護士)

大内 倫彦・大森 浩司・小林 芽未・角 学・瀧柳 宏

(補助学生)

参加教員担当ゼミナール学生等 各回4名

4、相談件数・内容

①件数 36件

②内容

借金, 保証そのほかの金銭債務(含む破産)	2件
貸金, そのほかの債権回収	3件
借地借家	1件
近隣問題(道路, 境界, 騒音, マンション管理など)	3件
労働問題(従業員のトラブル, 解雇, 配置換えなど)	6件
売買そのほかの契約関係	3件

家族関係（離婚，DV，児童虐待など）	2件
扶養，相続関係（遺言，遺産分割）	10件
交通事故	1件
人権問題（いじめ，不当逮捕など）	2件
刑事事件	1件
その他（震災・復興に関する事項含む）	2件

令和元年度巡回無料法律相談会

令和元年度巡回無料法律相談会は，群馬県高崎市の高崎市労使会館において市当局並びに地元校友会・校友弁護士等の協力を得て令和元年12月1日（日）に開催された。

開催の概要は，下記のとおりである。巡回無料法律相談会の趣旨である地域社会との交流を図り，学生の法学実践教育を行うという目的を達成することができた。

1、日 時 令和元年12月1日（日）

午前10時30分～午後3時

2、場 所 群馬県高崎市 高崎市労使会館3階 ホール

3、参加者（敬称略）

（専任教職員）

清水 恵介・藤村 和夫・田中 夏樹・長谷川福造

田村 武・木村貴美和・緒方 雅裕・岡田 好史

（校友弁護士）

池田 貴明・入澤 裕樹・金澤 大祐・川上 俊明・清水 智

（補助学生）

参加教員担当ゼミナール学生及び司法科研究室生等 10名

4、相談件数・内容

①件数 24件

②内容

借金，保証そのほかの金銭債務（含む破産）	2件
貸金，そのほかの債権回収	2件
借地借家	2件
建築関係	3件
近隣問題（道路，境界，騒音，マンション管理など）	2件
労働問題（従業員のトラブル，解雇，配置換えなど）	1件

売買その他の契約関係	2件
家族関係（離婚，DV，児童虐待など）	4件
扶養，相続関係（遺言，遺産分割）	5件
交通事故	2件
その他（震災・復興に関する事項含む）	2件

令和元年度行政なんでも相談

令和元年度行政なんでも相談は，法桜祭期間に合わせて開催された。

概要は，下記のとおりである。専門の相談員による行政相談に本学部の学生を記録員として陪席させ，行政相談を通じて日本の現代行政を理解する機会を提供し，そこにある問題点及びその解決方法を実感させるために実施した。

- 1、日 時 令和元年11月3日（日）～令和元年11月4日（月）
※時間は，午前10時～午後3時
- 2、場 所 法学部10号館2階学生ホール
- 3、主 催 日本大学法学部政経研究所
- 4、後 援 東京行政相談委員協議会
- 5、協 力 総務省東京行政評価事務所
- 6、相 談 員 総務省東京行政評価事務所相談委員
東京行政相談委員協議会相談委員
- 7、補助学生 行政科研究室所属学生及び公募にて募集の法学部生
- 8、相談項目 騒音被害と区画整理
空き家問題
政治教育と英語教育の改革について
高齢ドライバーについて
等々
- 9、相談件数 23件

令和元年度法律討論会

第42回法律討論会は，日本大学法学会と日本大学法曹会による共同開催，並びに日本大学法学部校友会と日本大学法学部法学研究所の後援により，令和元年10月26日（土）12時30分から法学部十号館一階1011講堂において開催された。

(出題者)

奥田 正昭 日本大学大学院法務研究科教授

(審査員)

林 史高裁判官・梶原 明日香検察官

田中 貴一弁護士

(進行・時計)

常行 晃子弁護士・岩田 真琴弁護士

◆問題 (民法)

【改正民法の適用があることを前提として検討してください。】

- 1 Aは、甲土地を所有していたところ、Bに対して同土地を建物所有の目的で賃貸して引き渡した。Bは、同土地上に2階建ての建物(乙建物)を新築して、家族とともに居住していたが、勤務先から3年の予定で地方への転勤を命じられたため、家族とともに赴任することとし、その間、乙建物を賃貸しようと考えた。業者を通じて賃借人を募集したところ、Cから申込みがあったため、Bは、Cに対して、次のとおりの約定のもとに、乙建物を賃貸して引き渡した。すなわち、賃貸期間は3年間とし、月額30万円の賃料を毎月末日までに翌月分を支払い、Cは、Bに対して敷金として90万円を差し入れるというものであって、Cは、約定どおり敷金90万円をBに差し入れ、家族4人で居住を始めた。
- 2 賃貸開始から半年が経過した2月末日、通過中の温帯低気圧が急速に発達して熱帯低気圧並みの勢力を持つに至り、その暴風雨の影響により、強風で吹き飛ばされて飛来した大型の看板が乙建物2階居室のアルミサッシの窓を直撃したため、窓ガラスが全壊するとともに窓枠も歪んだ状態となり、外壁も一部損傷するに至った。また、折悪しく、その日Cの家族は親戚の結婚式に出席するため朝早くから家を空けており、帰宅したのが夜遅くになってからであったため、その間、壊れた窓から風雨が室内に吹き込んで、Cが帰宅した時点では、2階の居室(子供らの部屋で、乙建物全体の面積の3分の1に相当する。)が水浸し状態となってフローリングが一部浮きあがり、壁紙も全部取り替えざるをえず、居室をそのまま使用することができない状態になっていた。

なお、天気予報では、その前日から、発達中の低気圧の影響で風雨が強まることが予想される旨が報じられていた。
- 3 Cとしては、子らのために早急に補修が必要と考えたことから、遠隔地に居住するBにその被害の事実を伝えることのないまま、3月1日、知合いの建築業者Dに補修

工事を依頼したが、当時建築ラッシュの時期であり、上記暴風雨による被害が相次いだことも相まって、人手や資材が足りなくなるという事情があったため、補修の完了までに2か月を要してしまい、その間、2階の居室を使用することはできず、子らは1階で生活していた。

補修工事の内容は、2階のアルミサッシ窓の取替え、外壁の修理関係で合計40万円を要し、2階の居室については、床のフローリングを取り換え（12万円）、壁紙については、せっかく張り替えることになるため、従来用いられていた通常品よりも2倍ほど高い高級壁紙に張り替えてもらった（8万円）。結局、補修工事に要した費用は、全部で60万円となったが、Cは、同工事完了後にDに全額を支払った。

4 Cは、Bに対して、補修工事完了後に被害の実情を伝えるとともに、Dに支払った補修工事代金全額を支払うよう何回も請求したが、Bはこれに応じようとしない。

なお、乙建物には、2階の居室部分を含め、アルミサッシ窓の外側に雨戸（シャッター）が設置されており、Cが外出するに際して雨戸を閉めていれば、少なくとも窓ガラスが割れて風雨が室内に吹き込むことはなかったものとする。また、看板の直撃によって傷ついた外壁の損傷部分の修理代金相当額は、10万円であったとする。さらに、Bには、懇意にしていた建築業者Eがおり、これまでEには便宜を図ってきたことなどから、Bとしては、Eであれば工事費用を半額程度に抑えることができたのではないかと考えている。

【設問1】

Cは、Bに対して、Dに支払った60万円の補修工事代金全額を直ちに請求したいと考えている。以上の事実関係を踏まえ、Cは、どのような理由付けにより、自らの請求を根拠づけることができると考えられるか。また、Bは、Cの上記主張に対し、どのような反論をすることができると考えられるか。その上で、Cの請求をどの限度で認めることができるかについて、結論及びそのように考えた理由を説明しなさい。

5 仮にCの補修工事費用請求に理由があったとした場合、Cは、上記の補修工事の実施により、2階を使用することができず、また、子らが1階で生活したため、手狭で不便であったことから、既に支払った3月分の賃料については全額返還を求め、4月分の賃料については、支払を拒みたいと考えている（補修工事の完了までに2か月を要することは、当初から明らかであったとする。）。

【設問2】

Cは、どのような理由付けで上記の請求等を行うことができると考えられるか。Cの上記請求等は、どの限度で認めることができるか、あるいは認めることができないかについて、結論及びそのように考えた理由を説明しなさい。

6 他方で、Aは、Bが賃料を滞納し、その滞納が半年分に及んだため、賃借人であるBに対して、相当期間を定めて未払賃料を支払うよう催告するとともに、催告期間の経過をもって甲土地の賃貸借契約を解除する旨の意思表示をした。そのうえで、B及びCを共同被告として、Bに対しては乙建物の取去と甲土地の明渡しを、Cに対しては乙建物からの退去を求めて訴えを提起した。

【設問3】

以上の事実経過のもとで、Cは、Aからの退去請求につき、Aに対してどのような主張をすることが考えられるか。その主張を踏まえ、AのCに対する請求が認められるか否かについて、結論及びそのように考えた理由を説明しなさい。

討論会は3人1組で十組が出場し、各チーム一人の立論者が10分以内の論旨を発表し、他の二人が他の出場チームや傍聴者の質疑に対して5分間で応答する方法で行われた。

討論に先立ち、日本大学法学会会長の小田司教授並びに日本大学法曹会会長有吉眞弁護士の挨拶があり、続いて進行の常行晃子弁護士から発表の手順と審査基準（論旨内容60点、発表態度10点、質疑応答内容・態度30点）等の説明がなされたあと討論会が開始された。

討論終了後、審査員を代表して田中貴一弁護士から審査結果が発表があり、続いて梶原明日香検察官及び林史高裁判官から講評があった。その後表彰式が行われ、法曹会、法学部校友会から優勝チームに法曹杯・法学部校友会杯、法曹会から優勝、準優勝、第三位の各チームに盾、並びに法学部校友会から副賞として図書カードが授与された。また、法学部校友会から出場者全員にメダル及び図書カード、優秀質問者には法学部校友会から図書カードがそれぞれ授与された。また、来場者全員に法学部並びに法学部校友会からそれぞれ記念品を贈呈した。

なお、法律討論会終了後、本館地下食堂において出場者・関係者全員による懇親会が開催された。

成績結果は、以下のとおりである。（括弧内は学科・学年）

優 勝（第4組）

二瓶 真和（法律学科3年）・林 郁潤（法律学科3年）

白井 佑岳（経営法学科 3 年）

準優勝（第 2 組）

佐伯 直哉（法律学科 3 年）・立花 佳菜（法律学科 3 年）

富田 華子（法律学科 3 年）

第 3 位（第 7 組）

松平 康汰（法律学科 3 年）・武田 貴博（法律学科 3 年）

佐々木優衣（公共政策学科 3 年）

参加賞（順不同）

飯塚 一壘（法律 3 年）・加藤 大雅（法律 3 年）

木暮 暁（法律 3 年）・吉村 誠（法律 3 年）

青木 彩実（公共政策 3 年）・高橋さやか（公共政策 3 年）

佐藤 海太（法律 3 年）・行松 秀記（法律 3 年）

栗原実優里（公共政策 3 年）・本多 果歩（法律 3 年）

高橋 健一（法律 3 年）・鈴木 麻友（経営法 3 年）

赤堀 秀樹（法律 4 年）・大野 恭平（法律 4 年）

高橋 李紗（法律 1 年）・坂本 健輔（法律 3 年）

坂之上雄太（法律 3 年）・白杵 優（政治経済 3 年）

小林茉悠加（法律 3 年）・半藤 航平（法律 3 年）

富井 大智（法律 3 年）・佐伯 直哉（法律 3 年）

立花 佳菜（法律 3 年）・富田 華子（法律 3 年）

二瓶 真和（法律 3 年）・林 郁潤（法律 3 年）

白井 佑岳（法律 3 年）・松平 康汰（法律 3 年）

武田 貴博（法律 3 年）・佐々木優衣（公共政策 3 年）

優秀質問賞（五十音順）

佐伯 直哉（法律学科 3 年）・鈴木充津彦（法律学科 3 年）

高橋 李紗（法律学科 1 年）・富井 大智（法律学科 3 年）

二瓶 真和（法律学科 3 年）

校友会会長賞（五十音順）

半藤 航平（法律 3 年）

令和元年度国家試験合格者

◆司法試験予備試験 1名

尾白 達彦（平成30年・法律学科卒業）

◆司法書士試験 1名

瀧渕 優（平成29年・法律学科卒業）

◆弁理士試験 2名

小山田圭佑（経営法学科3年在籍中）

近藤 華子（大学院法学研究科私法学専攻知的財産コース2年在籍中）

◆公認会計士試験 5名

石井 裕汰（法律学科4年在籍中）

今井 康人（経営法学科4年在籍中）

西田 圭佑（平成31年・経営法学科卒業）

竹内 知章（平成22年・法律学科卒業）

中根 崇（平成19年・法律学科卒業）

◆税理士試験 2名

山岸 心（大学院法学研究科公法学専攻2年在籍中）

滝澤奈津美（大学院法学研究科公法学専攻2年在籍中）